

ひがしいず 議会だより

2021 No.302

1 月号

本年もよろしくお願いいたします。－ 議員一同 －

コロナ禍でも元気!!

小中学校に電子黒板を購入	。。2～3
期末手当を0.05月分引き下げ	。。。。。。4
町民に開かれた議会を目指して	。。。。。。10
ふるさと納税について調べました	。。。。。。11
かがやくまちのひと	。。。。。。12



議会HP

一般会計補正予算を可決

12月
定例会

小 中 学 校 に 電 子 黒 板 を 購 入

定例会の
あらまし

令和2年第4回定例会は12月10日から11日まで2日間定2件、条例改正1件、規約変更1件などが提案され、審6人の議員が登壇しました。(5ページ参照)

の日程で開かれ、電子黒板購入費などを盛り込んだ補正予算4件、条例制議の結果すべて原案どおり可決されました。一般質問は1人60分以内とし、

Pickup ① 学校用備品購入費1,168万円

Pickup ③ 選挙運動の公費負担に関する条例の制定



※写真はイメージです

電子黒板購入により国のGIGAスクール事業と連携して休校時の対応が可能となる

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、小中学校に電子黒板や加湿器の整備を行う。

休校時の対応や国が進めるGIGAスクール構想にて活用していく。



GIGAスクール構想

義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用PCと高速ネットワーク環境などを整備する計画

Pickup ② 課設置条例の一部改正

令和3年4月より現在の9課体制を8課体制へするもの。

機構改革の一環で、再編による課名の変更が行われる。

農林水産課の係を産業振興部門と整備部門に分け、それぞれ観光産業課、建設整備課に属するようになる。

現 行		令和3年4月～	
観光商工課	観光商工係	観光産業課	観光商工係
農林水産課	振興係	建設整備課	農林水産振興係
	整備係		建設管理係
建設課	管理係	建設事業係	建設事業係
	事業係		農林水産整備係

農林水産課は上記のように2つに分かれることになる

公職選挙法の一部改正に伴い町議会議員及び町長の選挙における選挙運動用自動車、ビラ、ポスター作成を公費負担するもの。

また、町議会議員選挙においては供託金制度が導入された。

一般会計補正予算（358万円増）の主な内容

補正予算358万円の主な内容は以下のとおり。

●新型コロナウイルス感染症対策事業 ……△5,841万円

実績が見込みを下回ったことによる、事業者への継続化支援商工会補助金4,591万円の減額とプレミアム商品券商工会補助金1,250万円の減額



見込みの発行数を大きく下回ったプレミアム商品券

●道路新設改良事業 ……△2,200万円

国補助金の交付決定による減額

●保育園事業 ……1,611万円

保育園入所人数の増加による入所委託料の増額

●障害者児自立支援給付事業 ……3,134万円

利用者増加による増額

●誘客宣伝特別対策事業 ……123万円

首都圏での誘客キャンペーン



くすま せつお 楠山 節雄 議員

Q 町営の風力発電の事業継承は

A 事業継承に必要な支援をしていきたい

Q 1億2千万円以上の撤去費用は極力避けるべきでは。

A 基金等、町の財政状況が大変厳しい中、民間企業が事業継承することにより、町の財政負担を軽減したい。

Q 仮に事業継承できない場合は県と協議し、撤去費用の削減を図るべきでは。



相次ぐ故障にみまわれた町営の風力発電

A 現在、基礎部分を残す方法を県と協議をしている。

また撤去費用は、事業継承予定者が内部資料として所有している見積書を、参考資料として提示いただくことを承諾しているの、それを活用し費用削減を図りたい。

その他の質問

- A** 現状を憂慮しているが、広域的な取り組みが必要
- Q** 幼稚園の給食導入を
- A** 遅くとも4～5年後までには実施したい
- Q** 松くい虫の被害が拡大しているが



ふじい ひろあき 藤井 廣明 議員

Q 新たに計画中の風車の大きさは

A 全高119メートルである

Q 町は風車の撤去をどう考えているか。

A すべて故障で停止しており、民間会社に事業継承し、撤去していただくのが最善と考える。

Q 撤去費用は。

A 1億2千万円、基礎までだと2億円以上必要。

Q 一昨年の議会で「おおむね5千万円」と答弁しているが。

A その後、建設会社に向った。

Q なぜ撤去費用を基金に積み立てなかったのか。

A 積み立ててきたが大きな故障があった。

Q 民間会社では現在の町営風車を撤去後、大型風車を建設するというが



風車のいい終わり方を

大きさは。

A 全高119m、事業用地は5万2750㎡となる。

Q 民間会社は新たに特別目的会社を設立するというが、町の出資比率は。

A 詳細は決まっていない。

Q 近隣には観光施設や保育園、風下には片瀬、白田区があるが、影響はないか。

A 国の指針を上回る騒音は予測されていない。

Q 保育所から591mしか離れていないので、乳幼児への影響が将来にわたって心配だが。

A 20年も先のことを考えては何もできなくなる。

Q 風力発電による住民被害を出した町として「貧すれば鈍す」とならない終わり方を。

A 風車と被害の因果関係はまだ判っていないと考えている。

議案第69・70号、発議第5号

期末手当を0.05月分引き下げ

11月臨時会

11月30日に行われた第6回臨時会において専決承認（補正予算）1件、条例改正2件、工事変更契約1件、議員発議1件を審議し、可決しました。

人事院の勧告に伴い、町職員の期末手当を0・05月引き下げることが可決しました。

この引き下げは新型コロナウイルス感染症等の影響による経済の悪化に伴い、民間企業との格差是正のために行うものです。

これに伴い、特別職（町三役）の期末手当も職員（三役）の期末手当も職員の期末手当改正に準拠し引き下げることが決まりました。

また、議員の期末手当の引き下げについては、議員発議により提案され、審議の結果、全員賛成で可決しました。引き下げ幅は、町職員と特別職（町三役）と同様としました。

2020年 期末手当の減

特別職の職員で常勤の者	
町長	△35,017円
副町長	△30,015円
教育長	△26,565円
一般職員一人あたり平均	△17,157円
議員	
議長	△13,800円
副議長	△10,580円
委員長	△10,235円
議員	△9,660円

11月臨時会の議案と各議員の賛否

○賛成 ×反対
※議長は採決に加わらない

議案名	内容	採決結果	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	藤井廣明	鈴木勉	定井利子	山田直志
専決処分														
専決承認第7号 令和2年度水道事業会計補正予算	京王配水池水中ポンプ故障により更新工事を実施したもの（215万円増）	可決（11：0）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
条例改正														
議案第69号 職員の給与に関する条例	上記参照	可決（11：0）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第70号 特別職の職員で常勤の者の給与等に関する条例	上記参照	可決（11：0）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
条例改正（議員発議）														
発議第5号 町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	上記参照	可決（11：0）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
契約														
議案第71号 町立体育センター改修工事（建築工事）請負変更契約	町立体育センターの屋根、ひさし、入口ドア等の改修の変更が生じたため（194万円増）	可決（11：0）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○

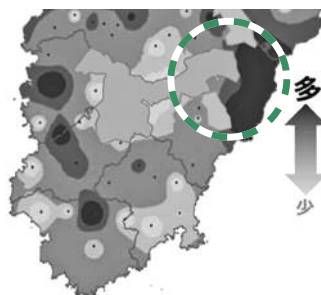


やま だ なお し
山田 直志 議員

Q イノシシ・鹿の駆除に力を入れて

A 猟友会の高齢化や獣の越境など課題が多い

Q 電柵等の対応や駆除の取り組みの実績は。
A 電柵は申請30件・実績18件。有害鳥獣報奨金は鹿30件・イノシシ40件を交付した。
Q 有害鳥獣報奨金が支払われないと聞くが。
A 昨年からの有害捕獲期間は4～5月とし、県の鹿管理捕獲事業は6～10月、猟期が11～3月15日となっている。鹿が増え、イノシシ



東伊豆付近全般に高い鹿の生息密度（県資料）

による被害も増大しているのに、なぜ駆除しないのか。
A 駆除期間の延長について、猟友会とも協議していく。
Q 被害は町中や里で起きているので、猟銃ではなくわなや、おりによる捕獲のため、餌づけをしたり、処分の方法など大変な手間がかかる。駆除実施隊なども他の市町より遅れているのでは。
A 猟友会員の高齢化・減少や獣の越境が根本問題だ。
Q 郡内でも当町と松崎以外は国の交付金により駆除を実施している。検討を。
A 調査し報告する。来年度以降の取り組みは。
A 有害捕獲期間の延長やICTわなの選定を進めていきたい。



かさ い まさ あき
笠井 政明 議員

Q 行政のデジタル化は

A 国の方策を見ながら検討していく

Q 行政のデジタル化、ペーパーレス化の検討は。
A 具体的な検討は行っていない。国・地方を通じてデジタル基盤の標準化を行う方針がうたわれている。国の具体的な方策が明らかになった時点で町の方針について検討していきたい。
Q 現状のシステムの中でもペーパーレス化ができる部分もあるのでは。
A ペーパーレス化は検



（写真はイメージです）
学校にタブレット、PCを整備

討していく。まずははんこレス化を管理職会議で提案・検討していく。
Q 二拠点居住の提案を以前行ったが検討は。
A 現在、イーストドックの改修を行っているため、来年度以降ワークショップ等に対応できるよう進める。
Q 公共サービスにおける民間活用は考えているか。
A 行政の簡素化・効率的な行政運営が求められる一方で、公共サービスの維持・向上を図っていくため、民間活用は有効な手段と考える。
Q GIGAスクール構想の今後の方針は。
A 機器の準備は今年度中に終わる。将来的には、常に児童生徒のそばに端末があり、学習ツールとして活用できるようにしていく。

Q 感染から町民を守る取り組みは

A 県の指導のもとで対処する



マスク・消毒液の配布を

Q 感染の疑いのある人が自主検査をした時の補助は。
A 自主検査費用は補助しない。
Q 感染拡大を防ぐには早期発見が必須では。
A 発熱等の症状があり医師の指示で検査を受けたときは、公的負担で無料となる。
Q 町民へのマスク、消毒液などの配布は。
A 個人への配布は考えていない。町はこれまで高齢者施設や病院、学校などへの配布を行ってきた。今後も緊急時に備えて備蓄していく。
Q 高齢者世帯、一人親世帯などへの特別配布は。
A 来年度予算で考える。
Q 感染予防対策は。
A 町民への呼びかけ、各種イベントや観光施設に感染予防の徹底をお願いしている。
Q クラスター発生時の危機管理は。
A 県の指導に従い対応する。



すず き つとむ
鈴木 勉 議員

Q 景観ビジョンに関する取り組みは

A 令和3年度から景観計画の制定を進める



稲取の海を守ろう

Q 地域の観光スポットである稲取漁港は、かつて外海と東の防波堤の所で海水が循環してきれいだったが、今はコンクリートで固め循環していない。その影響かヘドロが堆積し、汚れがひどい。ヘドロ除去は。また、海岸付近の美化活動の状況は。
A 港湾のヘドロ除去は県への要望が採択され、令和3年度に実施予定。海水の循環については、いかなる工法があるか相談したい。美化運動はボランティア団体が活動している。
Q 細野高原へ繋がる石垣のある入谷地区の農村風景の保全や、駅前、温泉場の町並みの整備、電柱・電線の撤去などの行動計画を策定して実現する考えは。
A 景観計画に基づいて実現を図りたい。



うち やま しん いち
内山 慎一 議員

意見書を提出しました



意見書はこちら

12月定例会において可決した3件の意見書を国・県へ提出しました。

ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書



ドクターヘリの運航事業者の経費負担軽減と、整備士や操縦士等スタッフの勤務状況を改善するため、国・県においては下記事項に取り組むよう要望する。

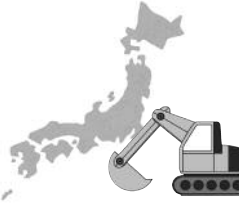
国への意見書

- 1. 地域ごとのドクターヘリの年間出動回数や出動時間、飛行距離及びその運航経費の実態を把握し、実際の運用に見合う補助金の基準額を設定すること。
- 2. 消費税の増税に見合った補助金の基準額の改正及び予算措置を行うこと。
- 3. ドクターヘリ機体の突発的な不具合発生時に運航事業者にさらなる負担を強いることがないよう、安全基準に基づいた代替機提供責務の適正化を図るとともに、代替機の提供に係る経費についても補助金の対象とすること。
- 4. 操縦士等のスタッフの勤務実態を的確に把握すること。

静岡県への意見書

- 1. ドクターヘリの運行状況を踏まえ、財政的支援の充実を図ること。
- 2. ドクターヘリ機体の突発的な不具合発生時に運航事業者にさらなる負担を強いることがないよう、代替機の提供に係る経費についても支援を行うこと。
- 3. 操縦士等のスタッフの勤務実態を的確に把握し支援すること。

防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書



想定される大規模自然災害に備え、令和3年度以降も「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を実施する必要性が高いことから、国においては下記事項に取り組むよう要望する。

- 1. 3か年緊急対策の更なる延長と拡充を行うこと。
- 2. 令和3年度以降も国土強靱化対策の対象事業を拡大するとともに、別枠による必要かつ十分な予算確保など、対策の抜本的強化を図ること。
- 3. 地方公共団体が国土強靱化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること。
- 4. 老朽化対策が確実に進められるよう新たな財源を創設するとともに、長期安定的に必要なかつ十分な予算を確保すること。

12月定例会の議案と各議員の賛否

○賛成 ×反対
※議長は採決に加わらない

議案名	内 容	採決結果	掲載ページ	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐 衛	村木 脩	内山慎一	藤井廣明	鈴木 勉	定井利子	山田直志
条例制定															
議案第72号 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	関連法令の改正により条文の整備を図るもの	可決 (11：0)	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第73号 議会議員及び町長の選挙における費用の一部を公費負担に関する条例	議会議員及び町長の選挙における費用の一部を公費負担するもの	可決 (11：0)	P 2	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
条例改正															
議案第74号 課設置条例	現在の9課体制を8課体制へ変更するもの	可決 (11：0)	P 3	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
規約改正															
議案第75号 静岡県市町総合事務組合理約の一部変更	1団体が脱退するため規約を変更するもの	可決 (11：0)	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
補正予算															
議案第76号 令和2年度一般会計補正予算	電子黒板の購入等によるもの(358万円増)	可決 (11：0)	P 2 P 3	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第77号 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算	システム改修費の増額等によるもの(24万円増)	可決 (11：0)	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第78号 令和2年度介護保険特別会計補正予算	システム改修費の増額等によるもの(874万円増)	可決 (11：0)	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第79号 令和2年度水道事業会計補正予算	災害復旧費の増額等によるもの(465万円増)	可決 (11：0)	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
意見書															
意見書案第5号 ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書	国へドクターヘリの支援強化を求めるもの	可決 (11：0)	P 9	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
意見書案第6号 ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書	県へドクターヘリの支援強化を求めるもの	可決 (11：0)	P 9	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
意見書案第7号 防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書	国へ国土強靱化対策の継続・拡充を求めるもの	可決 (11：0)	P 9	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○



意見書
地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書。具体的には、議員が発案して本会議にはかり、審議の結果、議決された場合、国会・関係行政庁などに提出する。



ふるさと納税について調べました



報告書はこちら

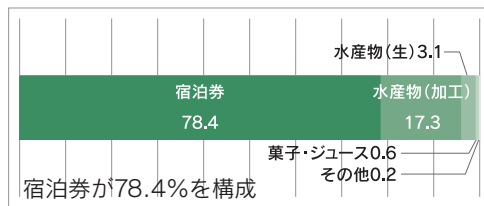
総務経済常任委員会 所管事務調査

令和2年9月から12月にかけふるさと納税をテーマとし、常任委員会による所管事務調査を行いました。当町のふるさと納税は、制度を開始した平成20年度当時4件40万円余りの寄附でしたが、令和元年度には1億5,971万円と約400倍に増加しました。しかし西伊豆町ではこの10倍の寄附を受け入れ、新たな財源として教育・産業の振興に役立てています。今回の本委員会の調査では、

- ①写真やキャッチコピーに魅力がない。
- ②魅力ある記念品が少ない。
- ③宿泊券が約8割を占めている。

などの状況が見てとれました。これらの課題を踏まえ、以下の提言を行いました。

記念品の種別シェア（令和元年度）



ふるさと納税の実績（令和元年度）

人数	2,035 人
件数	2,621 件
寄附金額	1億5,971 万円

委員会の意見（提言）

提言1 専任体制の確立を

財政係が兼務する現行体制では限界がある。事業充実のため専任スタッフを配置されたい。

提言2 寄附額区分の細分化を

記念品の返戻率が30%を大きく下回ることのないよう、寄附額区分表の細分化を検討されたい。

提言3 送料負担の検討を

送料を記念品納入業者の負担でなく、町の負担とすることを検討されたい。

提言4 目的の明確化を

例えば細野高原環境保全など、将来の町づくりに役立つ目的の寄附も用意されたい。

提言5 魅力ある商品開発を

記念品は宿泊券が多い。これに農漁業、観光施設の利用を組み合わせるなど、魅力ある商品開発を心がけていただきたい。

提言6 寄附者を町の応援者にするような取り組みを

西伊豆町は情報誌「西伊豆町ふるさと納税通信」を発行し、寄附者と繋がりを持つ取り組みを行っている。当町においても同様の取り組みを検討されたい。



町民に開かれた議会を目指して



報告書はこちら

議会改革特別委員会 中間報告

議会では、平成30年6月に議会改革調査特別委員会、令和2年5月の議員改選を機に議会改革特別委員会を立ち上げ、「町民に開かれた議会」を目指し改革を進めてきました。この間、住民との意見交換、会議ルールの見直しなどさまざまな取り組みを進めてきました。今回は令和2年12月定例会において報告した中間報告書の内容を紹介いたします。

まだまだ道半ばで、残している課題も多くありますが、これからも、議会がみなさんにとって身近で分かりやすい、そして頼りになる存在となるよう、さらなる改革に取り組んでいきます。

議会だより編集体制の見直し

職員任せの編集を改めて、議員自らの手で編集する体制とした。

各種団体との意見交換会

地域おこし協力隊や稲取温泉観光協会、農業従事者との意見交換会を実施。（新型コロナウイルスのため停止中）

政策討論会の実施

「学校の統合」「災害時の議会」をテーマに議員同士で議論。

傍聴ルールの全面見直し

傍聴にあたっての氏名記入の廃止や児童の同伴・写真撮影に関する規制の撤廃など、傍聴ルールを全面的に見直し、関連規則等を制定・改正。

聞き取り・アンケート実施

各常任委員会が聞き取り調査やオンラインアンケートを実施し報告書にまとめ、町長を含む三役に提出。喫緊の課題については議員が一般質問で確認。

2018(H30) 議会改革調査特別委員会

6
9
12

2019(R元) 議員改選

3
6
12

2020(R2) 議会改革特別委員会

3
6
9
12

一般質問の配信開始

東伊豆町有線放送(株)の協力のもと、一般質問のYouTube配信を開始。



一般質問
YouTube

本会議のルール見直し

①一般質問の回数制限の撤廃と町長の反問権の行使許可②議場への携帯電話等の持ち込み制限撤廃。

説明・審議方法の見直し

①定例会前の議案説明を全員出席の議案等説明会に変更。
②一般会計と特別会計に分かれていた決算特別委員会を一本化。

本会議のルール見直し

採決を挙手採決に変更。（11月より起立採決）

町附属機関の委員兼任の見直し

町の附属機関（審議会等）への委員兼任について令和3年5月の改選以降行わない方針を町へ示した。

かがやく まちのひと

Vol.4

10月にホワイトタイガーの赤ちゃんが生まれ、その様子をYouTubeなどで配信し人気を集める伊豆アニマルキングダム。そこで5年前から移住し飼育員として働く小川恵実さんに話を聞いてみました。



おがわ えみ 小川 恵実さん



2か月でこんなに大きくなりました

「猛獣の飼育員はめずらしいのでは」

たしかに、専門学校では猛獣の世話を希望する人は少なかったためです。らしいと思います。

ただ、私は、もともとライオンが大好きで、学校でも動物のケアなどを勉強しました。当園で飼育員として採用された時は、非常にうれしかったです。

「10月にホワイトタイガーの赤ちゃんが産まれましたが」

実は2年前にも出産がありました。この時は、3頭のうち1頭が死産となり残念な思いでした。

今回は3頭の赤ちゃんが元気に生まれ、日々成長するその姿を毎日見られることは大きな喜びです。

「赤ちゃんの現在の様子は」

ホワイトタイガーの赤ちゃんも1か月目までは、お客さんにも協力してもらい体重を量ることができましたが、今は、爪も伸び力も凄いののでそれではできません。可愛い中にも力強さが見られます。

「伊豆へ移り住んだ感想を」

込みがなく自然の中で快適に過ごせることが一番の魅力です。

海が近いので、夏は海によく出かけます。また、おしゃれなカフェが多いです。休みには出かけています。

「最後に一言」

アニマルキングダムは、お客さんと動物の距離がものすごく近く、楽しくふれあうことができる場所です。

また、ホワイトタイガーも日々たくましく成長していますので、ぜひ見に来てください。

お詫びと訂正

議会だより10月号のP13山田直志議員の一般質問の記事で誤りがありましたので、下記のとおり訂正しお詫びいたします。

【誤】2～3年のうちの値上げは厳しいと考える。

【正】コロナ禍の町内経済の状況を見据えながら判断していきたい。

議会広報編集委員会

委員長	藤井廣明
副委員長	笠井政明
委員	稲葉義仁
委員	西塚孝男
委員	村木 脩
委員	山田直志

編集後記

生肉を切つてのエサづくり、排せつ物の処理など獣臭の中での世話、大変な仕事を見てみると女性の飼育員が多いことに気が付きました。総務の方に聞くと飼育員には女性が多いそうです。

小川さんもその一人です。虎好きの女性が、一途に目標に向かって歩んでいる姿は、本当に輝いて見えました。観光地は、このようにさまざまな方が誇りをもって仕事に打ち込んでいる上に成り立っていると実感。コロナが一日でも早く終息して、この輝く伊豆の人を観に来てほしいものです。

(山田)